

平成27年度
海南市地域防災活動支援事業 実績報告
～ 巽地区 ～



平成27年10月

海南市

《 目 次 》

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 概要..... | 1 |
| 1.1. 地域支援事業の趣旨..... | 1 |
| 1.2. 事業の目標..... | 1 |
| 1.3. 実施概要..... | 1 |
| 2. 防災研修会..... | 2 |
| 2.1. 第1回防災研修会..... | 2 |
| 2.1.1. 内容..... | 2 |
| 2.1.2. 実施風景..... | 3 |
| 2.1.3. 質疑応答記録..... | 3 |
| 2.2. 第2回防災研修会..... | 4 |
| 2.2.1. 内容..... | 4 |
| 2.2.2. 実施風景..... | 5 |
| 2.2.3. 防災マップ発表内容..... | 8 |
| 2.2.4. 防災マップ..... | 9 |
| 3. 防災訓練..... | 12 |
| 3.1. 訓練概要..... | 12 |
| 3.2. 記録結果..... | 12 |
| 3.2.1. 実施風景..... | 12 |
| 3.3. アンケート結果..... | 15 |

1. 概要

1.1. 地域支援事業の趣旨

平成 23 年の紀伊半島大水害や平成 26 年の広島市における土砂災害などを教訓とし、台風や集中豪雨による風水害に備え、重点地区（別所・扱沢・東畑、南野上、加茂、仁義）において、全住民が参加する防災訓練を実施する。訓練当日は、海南市役所（災害対策本部）から重点地区全域への防災行政無線放送等により気象情報及び避難情報が伝達され、地域住民は予め想定した避難のタイミングや避難経路に従い、訓練に取り組むことで、それぞれが災害時に必要となる避難行動を確認するものである。

1.2. 事業の目標

風水害の発生または発生のおそれが生じた時、地域住民それぞれが迅速かつ的確な判断をし、主体的な行動により自らの命を守ることができるようになることを目標としている。

1.3. 実施概要

(1) 防災研修会

【第 1 回】

| | |
|----|---|
| 日時 | 平成 27 年 5 月 24 日（日）10：00～12：00 |
| 場所 | 巽コミュニティセンター |
| 内容 | 1. 主催者挨拶 2. 被災経験者による体験談 3. 学識経験者による講演 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について |

【第 2 回】

| | |
|----|--|
| 日時 | 平成 27 年 7 月 19 日（日）9：00～12：00 |
| 場所 | 巽小学校 ランチルーム |
| 内容 | 1. 主催者挨拶 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて 4. 防災マップづくり・発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて 6. 閉会挨拶 |

(2) 防災訓練

| | |
|----|-------------------------------------|
| 日時 | 平成 27 年 8 月 30 日（日） 9:00～10:00 |
| 場所 | 巽地区：別所・扱沢・東畑 |
| 内容 | 1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング（任意） |

2. 防災研修会

2.1. 第 1 回防災研修会

2.1.1. 内容

| | |
|-----|--|
| 日時 | 平成 27 年 5 月 24 日（日） 10:00～12:00 |
| 場所 | 巽コミュニティセンター |
| 参加者 | 地区参加者 75 名 職員参加者 20 名 合計 95 名 |
| 内容 | 1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明（危機管理課） 2. 被災経験者による体験談 テーマ「平成 23 年台風 12 号 紀伊半島大水害を経験して～市野々地区の当時と現状～」 那智勝浦町市野々地区 前区長 長雄 正紘 氏 3. 学識経験者による講演 テーマ「豪雨災害時における住民の避難～今から行うべき対策、備え～」 山口大学大学院 理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について（高齢介護課） |

2.1.2. 実施風景



主催者挨拶



研修会実施風景



被災経験者による体験談



学識経験者による講演



防災訓練実施計画概要の説明



避難行動要支援者名簿の説明

2.1.3. 質疑応答記録

特になし。

2.2. 第2回防災研修会

2.2.1. 内容

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------|-----|----------|----|---------|----|-------|-----|----|-----|
| 日時 | 平成27年7月19日（日）9:00～12:00 | | | | | | | | | | |
| 場所 | 巽小学校 ランチルーム | | | | | | | | | | |
| 参加者 | <table> <tr> <td>地区参加者</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>和歌山地方気象台</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>和歌山県砂防課</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>職員参加者</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57名</td> </tr> </table> | 地区参加者 | 33名 | 和歌山地方気象台 | 4名 | 和歌山県砂防課 | 2名 | 職員参加者 | 18名 | 合計 | 57名 |
| 地区参加者 | 33名 | | | | | | | | | | |
| 和歌山地方気象台 | 4名 | | | | | | | | | | |
| 和歌山県砂防課 | 2名 | | | | | | | | | | |
| 職員参加者 | 18名 | | | | | | | | | | |
| 合計 | 57名 | | | | | | | | | | |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報の説明 ・土砂災害の説明 ・水害の説明 ・避難行動、危険な場所、避難場所の説明 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目的や趣旨の説明 ・当日のタイムスケジュールの説明 4. 防災マップづくり・発表 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区のグループ員で危険箇所、避難場所、要配慮者宅等を確認して大判（A0）防災マップに記載し、地区の防災マップを作成 ・各自で避難のタイミングや避難経路を確認して手元（A3版）の防災マップに記載し、個人の防災マップを作成 ・各地区で協議・作成した、地区の防災マップの内容を発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の班員の方々への資料配布と研修会の内容説明を依頼 ・訓練当日、児童館や公民館を使用する地区は、当該施設の開設と鍵の管理者を選任いただくよう依頼 ・避難訓練後に地区の防災ミーティングの実施を依頼 6. 閉会挨拶 | | | | | | | | | | |

2.2.2. 実施風景

(1) 主催者挨拶



主催者挨拶

(2) 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明



気象情報の説明（和歌山地方気象台）



土砂災害の説明（和歌山県砂防課）



水害の説明（海南市建設課）



避難行動、危険な場所、避難場所の説明
（海南市危機管理課）

(3) 訓練当日のスケジュール説明



訓練当日のスケジュール説明
(海南省危機管理課)

(4) 防災マップ作りの様子



別所地区



扱沢地区



東畑地区

(5) 防災マップ発表の様子



別所地区



扱沢地区



東畑地区

(6) 訓練当日までの取り組み説明



訓練当日までの取り組み説明
(海南市危機管理課)

(7) 閉会挨拶



閉会挨拶（異地区連合自治会長）

2.2.3. 防災マップ発表内容

| 地区 | 内容 |
|----|---|
| 別所 | <ul style="list-style-type: none">・ 下別所はがけ崩れが多い・ 中別所にはん濫が予想される箇所あり・ 中別所と上別所は最終的には別所分校へ避難する |
| 扱沢 | <ul style="list-style-type: none">・ 中学校、小学校、異コミュニティセンターへの経路は出水や倒木の危険があるため避難場所としては選定しない。その他、ゴルフ場の駐車場という案も出たがここも出水の危険がある・ 上記を踏まえて70年間災害の無い扱沢集会所に避難するのが安全と考えた・ 将来的には高所からの出水を防ぐ溜池などの施設を作っていただきたいと考えている。 |
| 東畑 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害として出水、土砂崩れ、地すべりの箇所を確認・ 避難所は東畑集会所、北部と南部児童会館を考えた・ 避難準備情報が出た時点で各戸へ連絡する・ 要配慮者は避難勧告が出た時点で集会所と他1カ所に避難させることで考えている。・ 避難所まで10分程度かかるので早めに避難を開始する |

2.2.4. 防災マップ

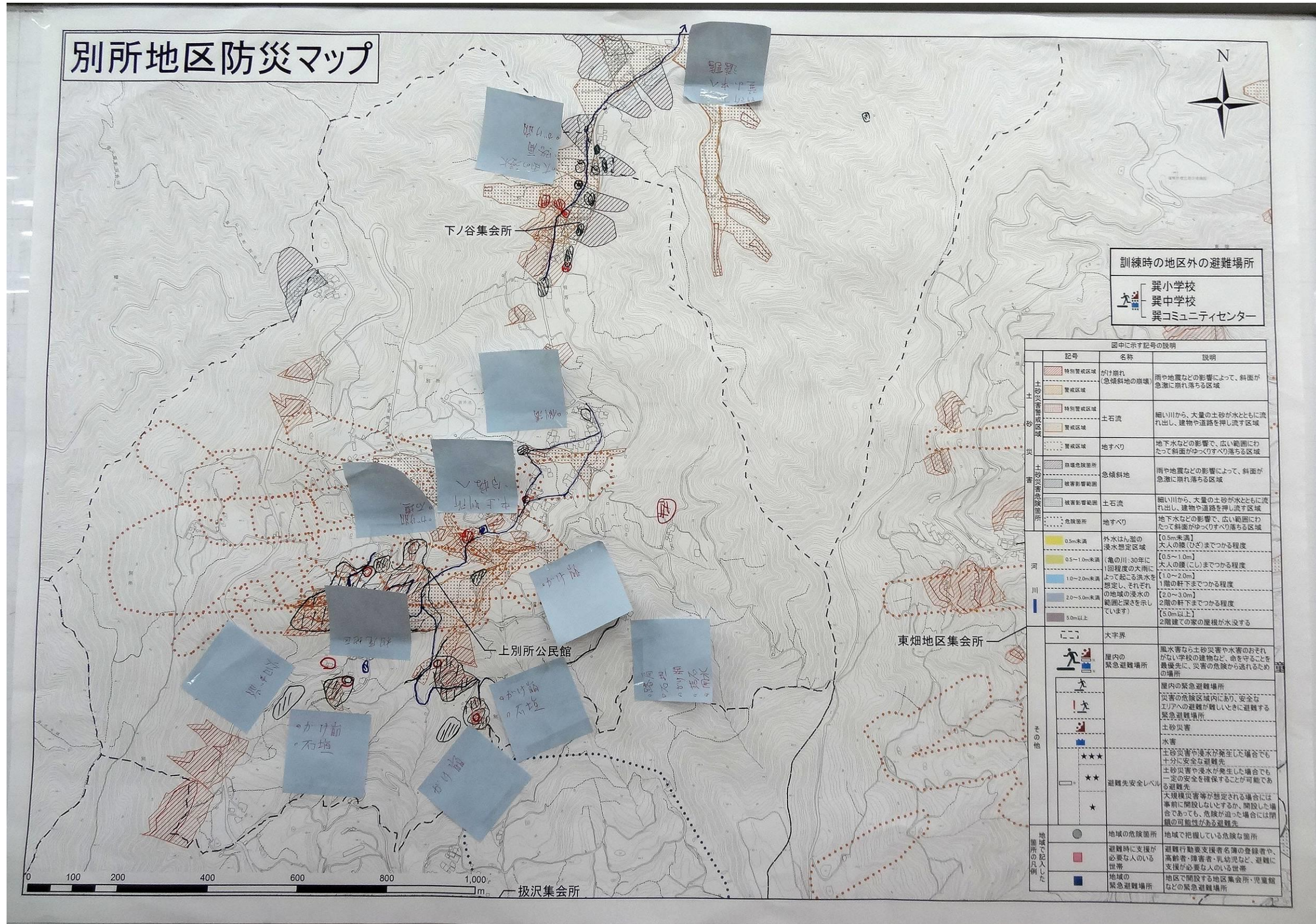
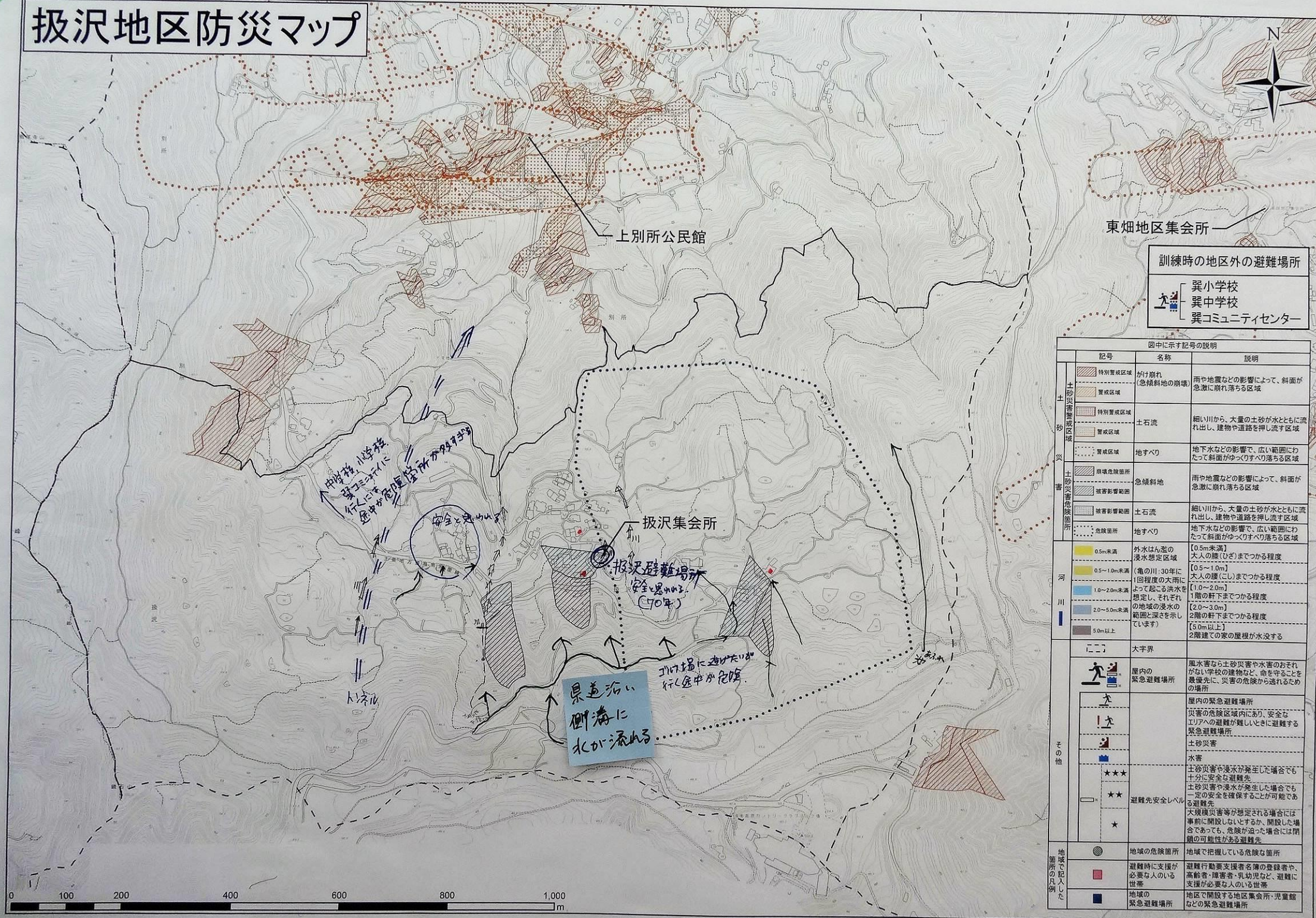


図 2-1 別所地区防災マップ

扱沢地区防災マップ



訓練時の地区外の避難場所

- 異小学校
- 異中学校
- 異コミュニティセンター

| 記号 | 名称 | 説明 |
|--------------|--|---|
| [斜線] | 特別警戒区域 | がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) |
| [点線] | 警戒区域 | 雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域 |
| [斜線] | 特別警戒区域 | 土石流 |
| [点線] | 警戒区域 | 細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域 |
| [点線] | 警戒区域 | 地すべり |
| [点線] | 警戒区域 | 地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域 |
| [斜線] | 南境危険箇所 | 急傾斜地 |
| [点線] | 被害影響範囲 | 雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域 |
| [斜線] | 被害影響範囲 | 土石流 |
| [点線] | 危険箇所 | 細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域 |
| [点線] | 危険箇所 | 地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域 |
| [0.5m未満] | 外水はん蓋の浸水想定区域 | [0.5m未満] 大人の腰(こし)までつかる程度 |
| [0.5-1.0m未満] | (亀の川、30年に1回程度の大雨によって起こる洪水を想定し、それぞれの地域の浸水の範囲と深さを示しています) | [0.5-1.0m] 大人の腰(こし)までつかる程度 |
| [1.0-2.0m未満] | | [1.0-2.0m] 1階の軒下までつかる程度 |
| [2.0-5.0m未満] | | [2.0-3.0m] 2階の軒下までつかる程度 |
| [5.0m以上] | | [5.0m以上] 2階建ての家の屋根が水没する |
| [二丁] | 大字界 | |
| [人] | 屋内の緊急避難場所 | 風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所 |
| [人] | 屋内の緊急避難場所 | 災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所 |
| [人] | 土砂災害 | 土砂災害 |
| [人] | 水害 | 水害 |
| [★★★] | 土砂災害や浸水対策をした場合でも十分に安全な避難先 | 土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先 |
| [★★] | 避難先安全レベル | 避難先 |
| [★] | 避難先安全レベル | 大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先 |
| [●] | 地域で把握している危険な箇所 | 地域で把握している危険な箇所 |
| [■] | 避難時に支援が必要な人(高齢者・障害者・乳幼児など)の世帯 | 避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のいる世帯 |
| [■] | 地域の緊急避難場所 | 地区で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所 |

図 2-2 扱沢地区防災マップ

3. 防災訓練

3.1. 訓練概要

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 日時 | 平成27年8月30日(日) 9:00~10:00 |
| 場所 | 異地区: 別所・扱沢・東畑 |
| 参加者 | 地区住民 235名 避難所開設職員 6名 合計 241名 |
| 内容 | 1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング(任意) |

3.2. 記録結果

3.2.1. 実施風景

(1) 別所



避難所への避難



避難所への避難



避難所への避難



避難所への避難



避難所への避難



避難完了

(2) 扱沢



避難所への避難



避難所への避難



避難完了



アンケートへの記入

(3) 東畑



避難所への避難



避難所への避難



避難所への避難



避難完了

3.3. アンケート結果

※アンケート回答数 90 件

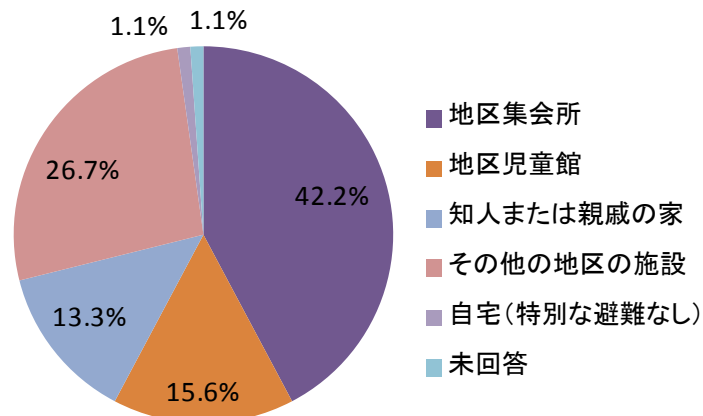
Q1. 今回の訓練で、あなたはどこに避難しましたか。

【アンケート結果】

| | |
|-------------|----|
| 異小学校 | 0 |
| 異中学校 | 0 |
| 異コミュニティセンター | 0 |
| 地区集会所 | 38 |
| 地区公民館 | 0 |
| 地区児童館 | 14 |
| 知人または親戚の家 | 12 |
| その他の地区の施設 | 24 |
| 自宅の2階以上の階 | 0 |
| 自宅（特別な避難なし） | 1 |
| 未回答 | 1 |

・集会所・公民館・児童館の内訳

| | |
|----------|----|
| 上別所公民館 | 0 |
| 別所児童会館 | 11 |
| 扱沢集会所 | 6 |
| 東畑地区集会所 | 29 |
| 東畑北部児童会館 | 0 |
| 東畑南部児童会館 | 0 |
| 下ノ谷集会所 | 0 |



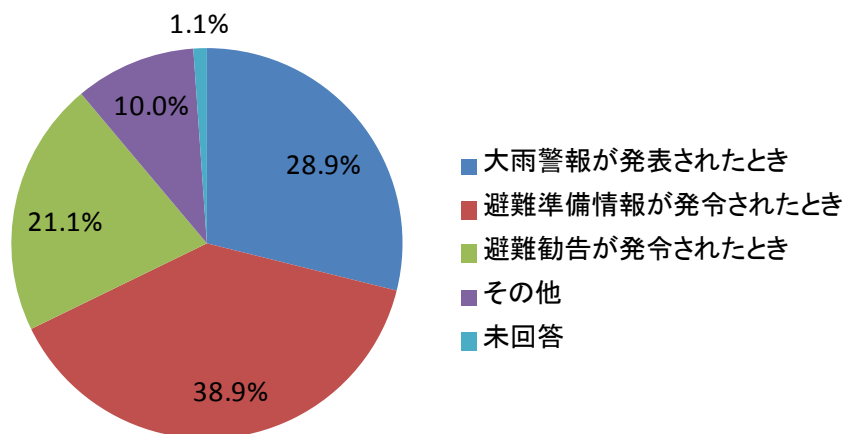
Q2. 問1で答えた場所に避難したのはいつですか。

【アンケート結果】

| | |
|----------------|----|
| 大雨警報が発表されたとき | 26 |
| 避難準備情報が発令されたとき | 35 |
| 避難勧告が発令されたとき | 19 |
| その他 | 9 |
| 未回答 | 1 |

・その他回答

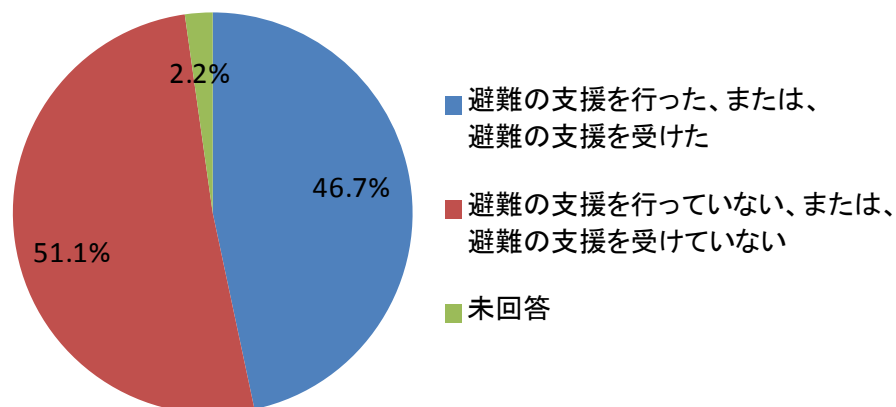
- 避難訓練
- 消防及び早めに



Q3. 避難にあたって、あなたはどなたかに支援（声かけ・付添いなど）を行いましたか。

【アンケート結果】

| | |
|-------------------------------|----|
| 避難の支援を行った、または、避難の支援を受けた | 42 |
| 避難の支援を行っていない、または、避難の支援を受けていない | 46 |
| 未回答 | 2 |



Q4. 訓練に参加して、お気付きになったことや感じたことをお書きください。

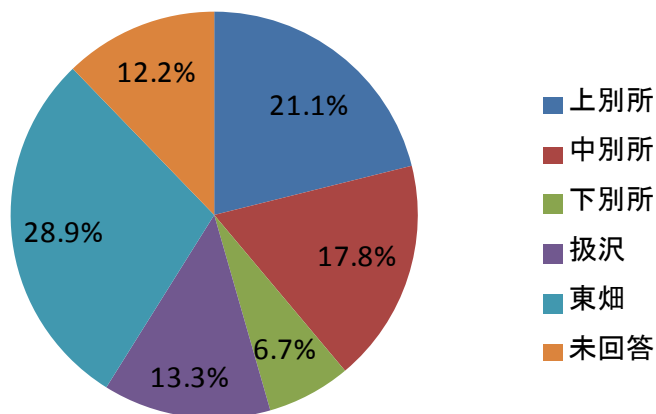
【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

- 防災無線が聞きとりにくい場所がありました。別所分校にあまり設備がないようでした。
- 家から歩いて20分くらいかかった。
- 避難について統一は重要と思うのと、障害者各家の見易い場所に統一した旗等を出すことも重要と思う。
- 消防団員として参加した。支援活動での指示の明確化のさらなる訓練が必要と感じた。
- 安全な集会場が欲しい。
- 地区全員が参加した結果、大変良かった。
- 地区全員が集まって真剣に行動した。
- 高齢の地区には多数集会場に集れた。
- 皆さん参加していた。
- 多数参加していた。

Q5. あなたのお住まいの自治会・区名をお書きください。

【アンケート結果】

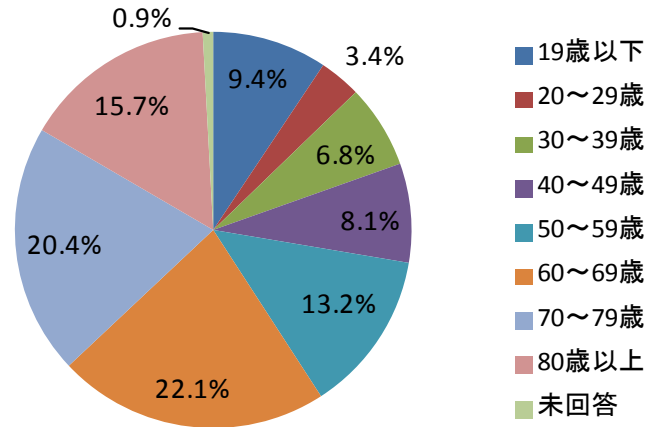
| | |
|-----|----|
| 上別所 | 19 |
| 中別所 | 16 |
| 下別所 | 6 |
| 扱沢 | 12 |
| 東畑 | 26 |
| 未回答 | 11 |



Q6. あなたを含めたご家族の年齢と人数をお書きください。

【アンケート結果】

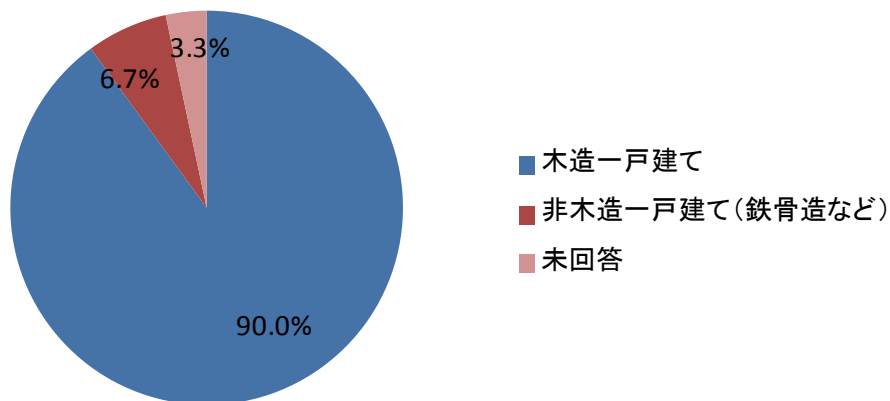
| | |
|--------|-----|
| 19歳以下 | 22 |
| 20～29歳 | 8 |
| 30～39歳 | 16 |
| 40～49歳 | 19 |
| 50～59歳 | 31 |
| 60～69歳 | 52 |
| 70～79歳 | 48 |
| 80歳以上 | 37 |
| 未回答 | 2 |
| 計 | 235 |



Q7. あなたのお住まいの住宅はどのような形態ですか。

【アンケート結果】

| | |
|-------------------|----|
| 木造一戸建て | 81 |
| 非木造一戸建て（鉄骨造など） | 6 |
| 長屋（共同住宅） | 0 |
| マンション（集合住宅）1階部分 | 0 |
| マンション（集合住宅）2階部分 | 0 |
| マンション（集合住宅）3階以上部分 | 0 |
| その他 | 0 |
| 未回答 | 3 |



Q8. その他、海南市の防災対策などについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

- 当地区の安全な集合建物が必要。
- 山崩れや道路欠損の現状を一早く察知すること。